

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	年々個々の状態差も大きくなりホーム全員は元よりユニット毎の外出も気軽には行えていない現状がある。山間部という立地も少なからず影響し外出先も限定的になりつつある。本来持てるべき楽しみを新たな発想や方法で創造できないか。	施設単体による限界も受け入れ外部の協力も柔軟に使用していく。また車やバス等でどこか遠くへ行くのが外出だという固定観念を失くし、ホーム周りの豊かな自然や地元の身近な資源の有効な活用法を考える。	広い敷地を活かし気候のいい時期、いい日には全員で屋外に出て食事をしてピクニック気分を味わってもらう事を検討している。またユニットを越えた職員の協力体制を検討し買い物等日常的に気軽に出かけられる時間を設けていく。	6ヶ月
2	8	成年後見人制度、日常生活自立支援事業といった認知症高齢者等の権利擁護に関する制度の普及と利用の拡大が顕著になってきている。各制度について全職員が理解、把握出来ていない現状がある。	制度の持つ意義や目的を職員全員が理解する。制度を利用されることより職員がとるべき行動を把握する。外部や御家族からの不安や疑問点を解消できる知識を身に付けていく。	施設での研修会を開催し理解、知識ある者が講師となり他の職員に周知していく。また必要に応じては本部や、外部からの協力を仰ぎ全職員の理解を深めていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。